

陳 情 文 書 表

|                                |                                                                            |
|--------------------------------|----------------------------------------------------------------------------|
| 受 理 番 号 ・ 受 理<br>年 月 日 及 び 件 名 | 陳情第131号（7. 5. 26）<br>王子公園再整備計画の進行を一旦停止し、市民参画のもとでの「（仮）王子公園のありかた検討会」設置を求める陳情 |
| 陳 情 の 要 旨                      | 1. 王子公園再整備計画の進行を一旦停止し、市民参画のもとでの「（仮）王子公園のありかた検討会」を設置すること。                   |
| 陳 情 者 の 住 所<br>及 び 氏 名         | 神戸市灘区<br>光 本 隆 司                                                           |
| 送 付 委 員 会                      | 建設防災委員会                                                                    |

神戸市議会議長様

2025 年 5 月 26 日

【陳情者】

【住所】 神戸市灘区

【氏名】 光本 隆司



王子公園再整備計画の進行を一旦停止し、市民参画のもとでの『(仮)王子公園のありかた検討会』設置を求める陳情

### 【陳情趣旨】

(1)再整備基本方針(素案)は、地元住民の視点に触れず、偏在した内容は客観性欠如だからです。

「王子公園は利便性の高い駅前空間にありながら憩いの空間が少なく土地の有効活用が為されていない」。土地の有効活用とは何ですか。地元市民の声は正反対です。10万筆の署名が証明しています。

(2)大学誘致の意義についての神戸市の説明は理解できないからです。

「再整備により文教都市・神戸としての地位を高め、王子公園エリアの新たな価値を創造する為に大学は有力な施策である。質の高い競争力のある大学を誘致し、イノベーション機能の強化、産学連携による地元企業の成長、神戸市民の所得向上、新たな雇用創出、交通利便性の高い王子の地は、まさに大学誘致に非常に大事な土地である」これらは王子公園以外でも全て出来る事です。関西学院大学理事長は「王子公園でなければならんとか、そういうことは全くありません」と発言。神戸市は、なぜ王子公園に拘るのか説明を求めます。交通の利便性は、関西学院大学と交通機関の利益のみで、理由にはなりません。

(3)学校法人は、地方税法第348条2項、第702条2-2項で非課税法人と記載があります。なぜ非課税法人に公有資産を売却しなければならないのか、理解できないからです。

(4)本計画における総投資概算金額330億円は、誰の為、何の為の投資なのか、納税者として理解できないからです。

施設の老朽化・陳腐化を最優先に掲げるなら、投資額を抑えて、施設のリニューアルや改善に的を絞り、王子公園を将来に亘り、更に魅力ある都心のオアシスに変えることが可能です。国、地方共に財政厳しく、人口減少化にある中、投資額を抑えることを望みます。

### 【陳情事項】

神戸市は、当初の素案公表から歩む道を間違えました、素案は神戸市のたたき台です、対案も無く、主権者にとっての選択権はありません。一旦停止し、市民参画のもとでの『(仮)王子公園のありかた検討会』設置を求めます。